＜令和８年度 新規＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体				
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業･社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
			○	
取組名称	特定外来生物「オオキンケイギク・オオハンゴンソウ」の駆除活動			
取組の区分・状況	新規（前回報告に無し）			
取組開始時期	2024年に取り組み開始			
前回からの変更・進展				
現在の取組内容	地域の生態系や在来植物への影響が懸念される特定外来生物「オオキンケイギク・オオハンゴンソウ」の駆除活動を実施している。			
経　費	ゴミ袋程度 ※行政の補助金があり、特定外来生物防除料によって奨励金の交付が受けられる。			
効果・成果	・地域の自然環境を守る活動を継続することで、生物多様性への理解を深めるとともに、地域環境の保全に貢献している。 ・令和6年度：オオキンケイギク（1回） 210kg 令和7年度：オオキンケイギク（1回） 170kg オオハンゴンソウ（1回） 60kg 令和8年度：オオキンケイギク（1回） 320kg			
課　題	特定外来生物は繁殖力が高いため根絶に至らない（効果・成果が見えずらい）。			
今後の予定・展開	特定外来生物は繁殖力が高いため、継続的に根気よく継続的に行うことで、根絶に近づけていく。			
備考・コメント				

写真1	

写真2	
写真3	
写真4	